

令和6(2024)年度 下都賀地区教育相談連絡会第2回研修会を開催しました

日 時：令和6(2024)年10月4日(金)

会 場：下野市南河内公民館

参加者：・下都賀地区各市町教育相談機関の関係者
・下都賀地区各市町教育支援センター担当者
・下都賀地区各市町教育委員会教育相談関係担当者
・各市保健福祉部・福祉事務所福祉部家庭相談員
・下都賀地区小・中・義務教育学校教職員

1 研修内容について

○目的 (1) 教育相談に関わる今日的な話題や課題について研修を深め、教育相談に関わる担当者の資質の向上を図る。
(2) 不登校や引きこもり傾向のある児童生徒、その保護者への対応やカウンセリングについて学ぶ。

○研修 テーマ「教育相談体制の充実に向けて ～福祉と教育の連携による対応力向上研修～」
講師 栃木県スクールソーシャルワーカー 坪井 雅代 S V
下都賀教育事務所 学校支援課担当

2 本研修で学んだこと(参加者が記入した〈研修の振り返り〉から)

【班別協議に関すること】

- 「エコマップ」を実際に作成してみて、支援の全体像が見えやすくなりました。事例検討は、学校に戻ってもぜひやってみたいと思います。
- それぞれの立場で情報を共有し、話し合うことで整理され、方向性が明確になる…事例検討ではたくさんのごことを学ぶことができました。「エコマップ」は、視覚的にも分かりやすく、整理しやすいと感じました。連携することで、さらによりよい支援につながると感じました。
- 職種異なる方々とグループワークで話し合うことができたので、考え方の広がりを感じました。切れ目のない支援、重層的な支援を自分事と捉え、業務に当たっていきたくと思いました。
- 立場が違うメンバーでの協議だったので、自分にはない視点での考えに触れることができ、新たな気付きがありました。児童生徒の抱える課題を分析し、どこで、何のために、どのように連携していくか、常に児童生徒を中心に考えていきたいと思っています。
- グループの方々と話し合っていく中で、「そうか」と気付かされることが多く、有意義な研修となりました。学校に戻って他の先生方とも共有し、支援に生かしていきます。
- 様々な立場や経験を生かして自由に意見交換できたことはとても有意義でした。建設的な意見が多く出されており、気付きも多くありました。他の班の発表を見たり聞いたりできたことも参考になりました。

【「連携」に関すること】

- 困り感をもつ児童生徒を支えるためには、学校だけでなく医療や福祉、家庭が連携することが必要だということを改めて感じました。情報共有をし、対応や方針を検討することで、本人の困り感の軽減につながるのではないかと思います。
- 異なる立場（職種）の方の意見が聞けたことがとても勉強になりました。学校だけでなく、関係機関等どのように連携していけるのか、グループで意見交換でき、多くの気づきがありました。切れ目のない支援の必要性を改めて感じました。
- 様々な立場の方々と事例検討できたことは、多面的な見方につながり、非常に効果的でした。単に外部とつなげることが目的にならないよう、アセスメントに応じた機関とつなげ、継続的に関わっていく必要があると感じました。何より、各機関の役割を理解することが第一歩だと再認識しました。
- 初めて「エコマップ」を作成しましたが、視覚化することで、つながりの強さや今後の見通しなどが見えてきました。目の前にいる児童生徒の利益のために、学校と関係機関で協力していきたいと思いました。学校に戻って、ぜひ先生方に伝えたいと思います。
- 問題点を考え、どのような社会資源とつながれるかを考えることで、連携の大切さが分かりました。それぞれが連携することで、その児童生徒に対して最善の働きかけができると感じました。
- 本日の研修を受講して、改めてチーム、そして連携の大切さに気づきました。あらゆる機関が協力して一つになれると、児童生徒にとってよりより支援になると思いました。学校に戻って共有し、今後の生徒の支援に生かしたいです。
- ケースについて、いろいろな角度から分析することの大切さと効果を改めて感じることができました。関係機関について具体的に捉えたり、連携の在り方について考えたりできるよい機会となりました。
- 「エコマップ」を作成し、社会資源を可視化することで、全体像がはっきり見えてきました。連携を強化できることや、家族の中で負担が大きくなっている人に気づききっかけにできそうです。
- アセスメントをする上で必要な情報を得るためには、かなり細かな部分まで知るべきだと感じました。それぞれの機関が持っている情報を集めて共有し、本人に適切な対応ができるようにしたいと思います。
- 多職種の方々が関わることで、必要な情報が得られたり、解決策が思い浮かんだりすると思うので、学校以外とのつながりを考えることが大切だと感じました。
- 今年度、SSWや市の福祉部局と連携したことでチーム支援の幅が大きく広がり、その重要性を痛感していました。改めて、重要性を校内に伝えていくための「言葉」や「視点」を学ばせていただきました。本日の内容を共有していくことで、校内のチームとしての機能も高まると思うので、がんばります。

